



(一社)中部地質調査業協会
理事長 伊藤 重和

巻頭言

平素は、一般社団法人中部地質調査業協会の事業活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。協会員一同、心より御礼申し上げます。当協会は愛知、岐阜、三重、静岡の4県に拠点をもつ協会員で構成されております。昨年の3月1日、任意団体として発足してから57年目にして一般社団法人に移行しました。一般社団法人としての事業活動を開始してから1年余り経過したところですが、今後とも社会に必要とされる協会として歩み続ける所存であります。

さて、最近の日本経済は景気回復基調が続いており、(一財)建設経済研究所による今年度の建設投資は、名目建設投資額が前年度並みの53兆円台を維持する予想となっています。一方、現在政府が推進する「働き方改革」について、業界の現状を概観すると、少子高齢化への対応の遅れや他の産業に比べて労働時間が長いこと等、改革・改善が進んでいるとは言えません。このため、若年層の人材確保は今後も厳しい状況が予想されます。

国土交通省ではこのような問題に対して、ICT(情報通信技術)を建設産業に取り込むことによって生産性の向上を目指しています。建設産業の上流に位置する地質調査業の業界団体としては、このような取り組みに貢献できる事が多々あります。例えば、地盤情報の集積と効果的活用があります。地盤情報を活用した地下空間の“見える化”として、3Dモデリングによる可視化・解析・評価により、地盤に起因する事故の発生が低減できると考えています。これらを推進するため、私たちの技術を日々発展させ、安全技術の確立に役立てたいと考えております。

また、地盤に関するリスクを、設計・施工段階での確に

対策が講じられるよう、地質調査技術者が現地合同調査やこれまでの三者会議に参画するという試行が、平成29年度に設計業務20件、工事において12件、計32件実施されました。結果は、工法選定や品質確保等に効果があったとされ、高い評価を得ることができました。

本機関誌66号の特集は「メンテナンス」としました。前述の活動は、今後ますます重要となる社会資本の長寿化に向けた維持管理という側面においても活用できるものであります。また、特別寄稿では63号から中部地区の大学の研究センターを紹介しておりますが、本号では「三重大学 地域圏防災・減災研究センター」といたしました。その他、協会員各社の技術向上を目的とした「中部ミニフォーラム2017」、「常設委員会報告」、また毎年開催していただいている「国土交通省中部地方整備局との意見交換会」についてもお目通しいただければ幸いです(「土と岩」のバックナンバーは協会ホームページにて閲覧できます)。

脆弱で複雑な地質からなる日本の国土においては、地震や火山噴火、加えて豪雨や台風等の自然災害が頻繁に発生し、地質リスクに起因する災害も散見される現状において、私たちの果たすべき役割と責任は大きく、次の世代に技術を引き継いでいかなければなりません。協会員一同、引き続き技術革新や業務効率の改善に務め、国民が安全・安心に暮らせる国土形成のために、地盤の専門家としての重要な役割を担って参りますので、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

01 ▶	巻頭言	1
02 ▶	特集 メンテナンス	3
	1) 物理探査による道路盛土と舗装の一体型評価への挑戦	4
	□岐阜大学工学部 八嶋 厚・村田 芳信・刈谷 敬三	
	2) 高速道路における切土のり面の維持管理	18
	□中日本高速道路株式会社 技術支援部 緒方 健治	
	3) 河川堤防を浸透破壊から守るための地盤工学	26
	□名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 小高 猛司	
	4) トンネルの維持管理	36
	□一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 寺戸 秀和	
03 ▶	特別寄稿	
	三重大学 地域圏防災・減災研究センター	45
	□三重大学工学研究科教授 畑中 重光・三重大学 地域圏防災・減災研究センター助教 水木 千春	
04 ▶	平成29年度	
	中部地区における地質調査業に関する意見交換会	54
05 ▶	散文 徳川美術館 尾張徳川家の至宝	62
	□徳川美術館 学芸部 加藤 啓子	
06 ▶	中部ミニフォーラム2017優秀論文	71
	1) 供試体作製時の含水比が透水係数と密度の分布に及ぼす影響	
	□中部土質試験協同組合 ○竹内 啓介・坪田 邦治・岩田 暁・清水 亮太・石原 聖子	
	2) ドローンを活用した熱赤外線調査法による吹付のり面の老朽化診断	
	□(株)ジーベック 原 由次郎	
07 ▶	北部フォッサマグナ地域巡検 -大規模地すべり地を巡る-	76
	現場研修会報告(1)	□株式会社キンキ地質センター 則竹 清史
	現場研修会報告(2)	□青葉工業株式会社 山田 千尋
08 ▶	常設委員会報告	80
	・ 総務委員会	
	・ 研修委員会	
	・ 広報委員会	
	・ 技術委員会	
	・ 防災委員会	
	・ 編集委員会	
	・ ホームページワーキング活動報告	
09 ▶	読者アンケート結果・読者アンケート	88
10 ▶	会員名簿	90
11 ▶	会員広告	92
12 ▶	編集後記	100